

## 俳句会

代表者名（事務局）	小山 昭雄（石黒 秀雄）
発足月日	2005年1月

2005年1月、新田創造さんの呼びかけで俳句の勉強会が始まった。メンバーは新田創造、市川隆、佐々木馨、小山昭雄の4名。それぞれ所属する結社は違うが、俳句を始めたばかりで、面白い盛り。10句持ち寄りで月1回、会場は長町モール内・紅茶のルピシア。会名を「長町句会」とした。翌年、石黒秀雄さんが加わり、佐々木馨さんが病気で退会された。4名で俳句論を侃々諤々やり合った記憶がある。2007年の春、BOB会理事の槻山智雄さんの呼びかけにより、BOB「けやき俳句会」として衣替えした。初回は4月19日、会場はJTB東北内のBOBサロンをお借りした。約1年後サロンの移転などもあり、会場はルピシアにもどる。2011年秋、会場はハチヤ珈琲店に替わる。この頃より、3句提出の句会方式が定着する。2016年12月より鶴岡の陶山芳子さんが加わる。翌年8月、鶴岡の清水 孝さんが参加され、会員6名となる。鶴岡の2名は、投句による参加であるが、一度も欠かさず現在も続いている。2017年春、設立メンバーであった新田創造さんが退会された。病気の為と言いながら誠に残念であった。現在は5名の会員に、自由投句で矢口愛水さん、菊池 ひろしさん、金子誉誌緒さん、清野馬子さんが加わる。また、会では年に一度の吟行会を行っている。2005年の鹿島台・瓦市をはじめ、宮城県と近隣の各地、行事等を巡っている。15回を数えるが、2017年の山形・山刀伐峠・最上川、2017年の鶴岡・羽黒山・加茂水族館吟行は、良い思い出である。次回は桜の頃の松島巡りはどうかと考えている。これまで「長町」と「けやき」の小さいながらも二つの句集を発行しました。会は2020年4月で150回を迎えます。これまでBOB会や皆様より多くのご支援をいただき、御礼申し上げます。また、全国俳句大会が行われ、今年で3回目を迎えました。俳句の輪がさらに広がることを願っています。（小山記）

最近の「けやき俳句会」より  
北濠に一本の日矢蓮の花  
潮騒を遠くに朝の新茶かな  
露草の三叉路に降る雨の音  
初茄子付箋の多きレシピ本  
杉並木ほほ撫づる風秋の声

小山あきお  
石黒 秀策  
市川 たかし  
陶山 芳子  
清水 孝

2015年10月27日  
俳句「けやき会」吟行会  
尾花沢・伐切峠方面  
芭蕉の跡地を訪ねて

